



福島県看護協会

いわき支部だより

第11号

JANUARY.2026

記事内容

- P1. 支部長挨拶
- P2. 病院紹介
- P3. いわき支部活動報告 教育委員会／地域看護活動委員会
- P4. 訪問看護紹介／役員・委員紹介／編集後記

いわき支部長挨拶

福島県看護協会いわき支部長 片 寄 睦 美
(社団医療法人養生会 かしま病院)



会員の皆様には、日頃より支部活動に多大なご協力・ご理解をいただき、心より感謝申し上げます。支部長任期2年目となりましたが、支部役員・委員とその活動を支えていただいている各施設の管理者、職員の皆様のお力添えのおかげで、何とか活動を進めることができております。

今年度いわき支部では、各委員会が主体的に活動を推進し、更にパワーアップした取り組みを行っています。

「教育委員」は、第1回研修会では、共通テーマである「意思決定支援」を軸に在宅の課題を取り上げ、訪問看護連絡協議会との連携を深めた研修に繋げることができました。看護発表会では、昨年度のアンケート結果を踏まえ、発表会と同日に特別講演会を企画しました。

「地域看護活動委員」は、まちの保健室の開催数を昨年度より増やし、介護フェアや各イベントへ参加しました。消防本部や理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会・栄養士会等の他職種と連携し活動することにより、活動を深めることができました。又、看護学生のボランティア参加等、活動の幅を着々と広げています。看護の出前講座では、各施設からのご協力の下に中学校・高校の3校に出向きました。技術体験を含めた看護職の仕事を知る授業は、学生から好評でした。

「広報委員」は、支部だよりでの市内の施設紹介、ホームページの充実に取り組んでいます。

「看護管理者懇談会」は、参加対象を主任以上に広げ、昨年に引き続き行政保健師との連携推進をテーマに、講演とグループワークを行いました。

どの施設においても、人員不足や処遇改善、労働環境改善等の多くの課題を抱え奮闘している状況は続いています。いわき支部では、各施設や各団体との連携を更に強化し、医療・介護の共通した課題に取り組み、看護職一人ひとりがやりがいを感じ、働き続けることができるように、支部活動の活性化を図っていきたいと考えています。

皆様、引き続き支部活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



紹介

浜通り医療生活協同組合 小名浜生協病院

看護部長 岩井 真美

小名浜生協病院は、浜通り医療生活協同組合の基本理念「憲法を活かし、いのちと平和を守り、安心して住み続けられるまちづくりをめざします。」を基に地域の皆さまとともに歩む、地域に根ざした病院をめざしております。

その一つとしてプライマリーケアの推進、訪問診察患者枠の拡大、室料無料の継続、無料・低額診療事業の実施など、医療が必要な患者さんすべてに医療を届けられるような取り組みを行っております。さらに、「地域とともに健康づくり」を目標に、医療講演会・まちかど健康チェック・体操教室・健康まつりなど、地域の皆さまと一緒に健康づくりに力を入れています。

私たち看護部も、浜通り医療生活協同組合の基本理念のもと看護部の目標である、「いのちの尊厳と人権を尊重し、安全・安心・安楽で親切的看護・介護」を実践し、地域に密着した患者に寄り添う看護の提供を心がけていきます。

これからも、地域から信頼される保険・医療、福祉・介護サービスを提供できるように、日々、質の向上に努力していきます。

浜通り医療生活協同組合

小名浜生協病院

診療科目：内科

病 床 数：109床…地域包括ケア病床：49床
医療型療養病床：60床

- 看護職員：94名
- 勤務体制：2交代制、3交代制
- 看護方式：固定チームナーシング

介護医療院：16療養床

- 訪問診察
- 訪問リハビリ
- 健康管理室
- 地域連携支援室

小名浜生協病院附属せいきょうクリニック

診療科目：内科、外科

- 外来診療
- 訪問診察
- 訪問看護

訪問系サービス

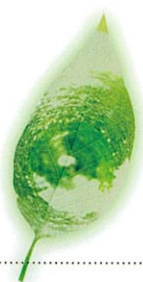
- 訪問看護ステーションかもめ
- 在宅福祉センター
- ヘルパーステーション

通所系サービス

- 通所リハビリステーション
- デイサービスセンター岡小名



こちらのコーナーでは、各委員会の活動のようすをお伝えします。



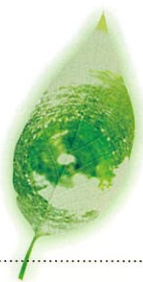
教育委員会

令和7年9月20日に、いわき市保健福祉センターで看護研修会を開催しました。研修テーマは、「在宅医療から見た病院（医療機関）との連携 ～訪問看護の症例を通して考える患者の望みを叶える意思決定支援～」でした。医療法人



医和生会医療部部长鈴木のり子先生を講師に迎え、患者の望む最期を支えるために必要となる病院と在宅医療の連携について学びました。また、地域で活動する訪問看護師と施設の看護師がともに、「終末期に胃瘻造設を拒否し在宅療養を選択した患者」の事例についてグループワークを行いました。それぞれの視点から出された意見は、参加者にとって新たな気づきとなりました。多様な場で活躍する看護師が、患者の希望に沿った意思決定支援について共有できる貴重な時間となりました。

いわき市医療センター 看護専門学校 ● 手戸 邦江



地域看護活動委員会

令和7年度地域看護活動委員会では、地域住民の健康維持・増進を目的として活動を行いました。今年度はまちの保健室を4回開催し、栄養士会、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会と協働し実施することが出来ました。健康チェックや体調相談、運動指導、食事相談など多職種がそれぞれの専門性を活かして支援することで参加者にとって理解しやすい実践的な内容を行うことが出来ました。参加者からは「わかりやすくよかった」「いろいろな話が聞けて参加してよかった」との声が聞かれました。今回6回目という参加者もあり、まちの保健室の活動が地域に浸透してきたことを感じました。また、看護の日イベントでは次世代を担う子どもたちに看護職への関心を高めてもらえるよう体験型ブースを設置し開催しました。小・中学生やその保護者の参加があり、特にBLS体験では心肺蘇生法やAEDの使用手順を実際に体験しました。真剣な表情で胸骨圧迫を行ったり、命を守る行動の大切さを学ぶ姿がとても印象的でした。イベント参加を通して「看護師になりたい」と笑顔で話す姿や、保護者からは「命の大切さを子どもと一緒に考えることができる良い機会でした」との感想が聞かれました。



保健福祉センター



ラトブ



イオンいわき

今後も地域看護活動委員として地域の方々の健康の保持、増進のための活動に取り組んでいきたいと思います。

中村病院 ● 小山 香

訪問看護 紹介

くれば訪問看護ステーション

所長 鈴木真由美

こんにちは！くれば訪問看護ステーションです。

当訪問看護ステーションは、いわき市南部地域の二次医療を担う社団医療法人呉羽会 呉羽総合病院内に事務所を構えています。同敷地内には介護医療院、健診センター、介護老人保健施設、居宅介護支援事業所が併設されており、地域包括的な支援体制の中で活動しています。

現在は看護師5名と事務員1名で、病気や障害を抱える20代から102歳までの約70名の利用者とその家族が、住み慣れた環境の中で安心して療養できるよう、多職種と連携し、24時間体制で支援を行っています。提供するケアは、食事の管理、排便コントロール（浣腸や摘便、下剤調整）、服薬管理、清潔援助、褥瘡の予防・処置、CVカテーテル・膀胱留置カテーテル・胸腔ドレーン・胃瘻・人工膀胱・人工肛門・在宅酸素・人工呼吸器の管理、吸引、採血、血糖コントロール、疼痛コントロール、ターミナルケア、家族支援、リハビリなど多岐にわたり、利用者一人ひとりの状態や生活背景に合わせた、きめ細やかな看護を大切にしています。

印象的な事例を紹介しますと、入院中は笑顔がなく、会話や食事もほとんどできなかった終末期の利用者が、家族の希望で自宅に退院されました。点滴や食事支援を続ける中で「私頑張るね」とご自身の声で話されるほど活気を取り戻し、約半年間自宅で過ごされました。また、胆嚢炎でドレーンが挿入され、寝返りも打てない独居の高齢利用者が、「家で最期を迎えたい」と希望され、家族支援がない中でも自宅退院を選ばれました。医師、ケアマネジャー、訪問介護・入浴・リハビリ事業所、福祉用具事業所など多職種で連携して支援し、現在も在宅療養を継続されています。療養環境は様々ですが、住み慣れた自宅にいるからこそ、その人らしく過ごせている、と私たちは日々実感しています。



緊急連絡を受けて真夜中に訪問することや、利用者とその家族の意思決定を支援しながら最善の対応を考える中で、判断に迷い難しさに直面することもあります。それでも、利用者とその家族の笑顔や「ありがとう」の言葉に励まされ、この仕事に大きなやりがいを感じています。

「すべての人を笑顔にするために」という呉羽会の理念のもと、利用者とその家族だけでなく、働く私たち自身も笑顔でいられる職場を目指し、日々協力し合いながら業務に取り組んでいます。今後も地域に根差した運営を行い、安心と笑顔を届けられる訪問看護が提供できるよう努めていきます。



役員・委員紹介

役員

役職	氏名	勤務先	担当
支部長	片寄 睦美	かしま病院	
	菅野 眞理	いわき市医療センター	渉外・広報
副支部長	佐々木礼子	福島労災病院	教育
	大澤 昌代	福島整形外科療護園	地域看護
書記	米野由紀子	松尾病院	議事録管理
	内海めぐみ	かしま病院	公文書発送
会計	野口 訓彦	医療創生大学	

教育委員

氏名	勤務先	担当
手戸 邦江	いわき市医療センター看護専門学校	委員長
佐藤 裕子	ときわ会磐城中央病院	副委員長
西郡 里美	福島労災病院	副委員長
加藤 貴子	松村総合病院	書記
河合 真理子	呉羽総合病院	書記

地域看護活動委員

氏名	勤務先	担当
小山 香	中村病院	委員長
菅野 美香	福島労災病院	副委員長
坂本 聡子	いわき市医療センター	副委員長
齋藤 千代美	松尾病院	書記
志田 真澄	呉羽総合病院	書記

広報委員

氏名	勤務先	担当
武田 里美	長春館病院	委員長
下藤 一行	小名浜生協病院	副委員長
平子 真由美	いわき湯本病院	書記
福田 啓子	いわき市医療センター	書記



令和7年度支部だより第11号を発行し、皆様のお手元に届けることができました。日頃より看護協会の活動にご協力頂き感謝申し上げます。2025年度問題として地域医療の体制見直しや人材不足など、どれも簡単に解決できるものではありません。しかし、地域や個人が連携すれば持続可能な取り組みへつなげていく余地は大きいはずです。今後も地域と連携を図り、地域看護活動に取り組んで参りたいと思います。

福島県看護協会 いわき支部だより

● 第11号 ●

令和8年1月 発行

発行者：福島県看護協会いわき支部